

ナショナル・ジャパン・ボウル National Japan Bowl™

ワシントンDC日米協会

WASHINGTON DC

ジャパン・ボウル チェックポイント

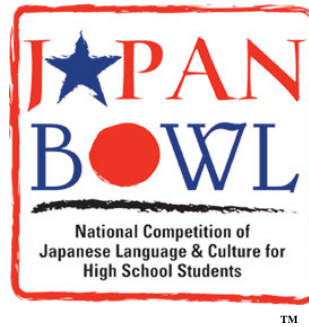
- ジャパン・ボウルとは、高校生のための日本語・文化全米大会。
- 2006年大会には、全米15州から90チーム、約230人の高校生が参加。
- 開催15周年を迎える2007年ジャパン・ボウルは2007年4月12日・13日にワシントンDCにて開催予定。また桜祭りは翌日4月14日に開催予定。
- 第1回ジャパン・ボウルは1993年に開催され、以来、ワシントン日米協会主催の恒例大会として毎年春に行われている。

ジャパン・ボウルとは？

ナショナル・ジャパン・ボウルとは、ワシントンDC日米協会主催による高校生のための日本語・文化全米大会です。本大会では、アメリカ各地で日本語を学んでいる高校生の日本語能力および日本文化や伝統、現代事情などがクイズ形式で問われます。

参加チームは日本語を学んでいる年数によって3レベルに分けられます（日本語学習2年目はレベル2、3年目はレベル3、4年目はレベル4）。高校4年生が参加するレベル4の優勝チームには、ナショナル・ジャパン・ボウル代表として、毎年、6月から7月にかけて、10日間の日本研修旅行が授与されます。多くの優勝者に

とって、これが4年間勉強した日本語の母国に訪れる最



初の機会となります。

第1回ジャパン・ボウルは、ワシントンDC周辺の高校生を対象に1993年に開催され、数年後には全米各地から数多くの高校生が参加するようになりました。2006年大会には、カリフォルニアからニューヨークまで90

余りのチームが参加するまでの規模になりました。

ジャパン・ボウルは、日本から贈られた桜が満開になる時期に行われる全米桜祭りの一環として行われます。毎年この時期になると、2週間にわたる桜祭りに全米各地から100万人以上の人々がワシントンDCを訪れます。

開催15周年を迎える2007年ナショナル・ジャパン・ボウル記念大会は、4月12日（木）および4月13日（金）の二日間にわたり、ワシントンDC中心部にあるマリオット・メトロセンター・ホテルにて開催予定です。

全米桜祭りとジャパン・ボウル

毎年、日本から贈られた桜が満開になる季節に、桜祭りの間、スミソニアンやケネディーセンタ、日米協会主催の数々のイベントで街中が「日本一色」になるワシントンを訪れるのを楽しみにしているのは観光客だけではなく、日頃か

ら日本語を学び、親しんでいる高校生達にとっても、この時期にワシントンへ来られるのは何よりの機会です。

2007年には、ジャパン・ボウル開催の翌日、4月14日（土）に2週間にわたる全米

桜祭りのフィナーレとしてパレードと桜祭りが行われます。来年46回を迎えるワシントン日米協会主催の桜祭りは、全米最大規模の日本祭りです。近年では祭り当日、10万人を超える人々が訪れました。

なぜジャパン・ボウル？



ガンバレ！

ジャパン・ボウルが初めて開催された頃、ジャパン・ボウルの目的の一つとして、アメリカでの日本語教育基準の確立が掲げられました。15年前のその当時、アメリカの高校で日本語は真新しい科目であり、日本語教育の基準がほとんど存在していませんでした。その後、各地で日本語教師会が次々に設立され、また日本語のAPテスト(注参

照のこと)も2007年より開始されるなど、外国語としての日本語教育は日々、目覚ましい発展を遂げています。

このような変化の中で、現在、ジャパン・ボウルが目指すのは、アメリカの高等教育レベルの初・中級日本語学習者に焦点を置き、彼らが日頃の日本語学習がをより楽しく、そしてもっと日本を知りた

くなるようなサポートを提供し続けていくことです。言語を通じた相互理解を促進していくことが我々の目標です。

(注) 高校4年生でAP (Advanced Placement Test)を受けて合格すると、それが進学先の大学で単位として認可される。4年未満で大学卒業を希望する高校生の多くが、高校在学中にAPを受験する。

なぜ日本語？

日本で中学校から英語が必修科目であるように、多くの国で、中・高等教育機関での外国語学習が行われています。

英語が母国語であるアメリカでは、外国語科目にスペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、

日本語など様々な言語を学習することができます。そのような状況下で、日米協会はアメリカの高校で日本語を外国語として学ぶ生徒たちを支援する教育活動の一環として、ジャパン・ボウルを毎年開催しています。

ジャパン・ボウル参加者の多くは、日本語を選択した理由に、日本のマンガやアニメに興味があったこと、また、英語に近いスペイン語などとは違った外国語に挑戦してみたかったなどの理由を挙げています。

「彼らこそが将来の日米友好関係を担うリーダーとなるのです。」

高校生の日本語学習を支援



2006年

ジャパン・ボウル
公式デザイン

(Eunice Choiによる
デザイン)

アジア地域が様々な変化を遂げる今日、アメリカで日本語を学ぶ高校生たちを支援していくことは、日米協会にとって大切な使命であり、また彼らがワシントンでジャパン・ボウルに参加するのと同

に、桜祭りにて、日本文化・伝統のハイライトを体験することは、彼らの日本に対する興味と関心をより一層高めるに違いありません。今後、日本への関心を更に高め、将来、ビジ

ネスや教育など様々な分野で活躍しながら、彼らが日本とのつながりを保ち続けることを願っています。

ジャパン・ボウルへの支援



在日アメリカ大使 J・トーマス・シーファーから祝辞を受ける2005年ジャパン・ボウル優勝チーム。

現在、ジャパン・ボウル希望者は、まず2・3人のクラスメートとチームを編成し、最小限のチーム参加費を申請時に支払います。大会運営・開催経費のほとんどは、各財団からの助成金、企業、個人の皆様からの献金によって賄われております。

「ジャパン・ボウルの成功は、各財団、企業、個人の皆様からの献金によって支えられています。」

2006年スポンサーおよびサポーター

2006年大会では、スポンサーとして米日財団、フリーマン財団、国際交流基金、在米日本大使館、東京在住・井上寿夫夫妻から、そしてサポーターにワシントンDC大学、ワシントン日本商工会、鎌田商事（鎌田醤油）、NTT Group、Marshall & Lisperard Green 教育基金、そして当日

100人を超えるボランティアの方々からのご理解・ご援助を頂きました。

また、レベル4の優勝チームに授与された日本旅行には、東京日米協会および全日空からご支援いただきました。チームの日本滞在中、在日アメリカ大使館、AFLAC、慶

応大学国際センター、関西パナソニックセンター、関西日米婦人会の皆様からもご支援いただきました。

将来に向けて

毎年、ジャパン・ボウルへの興味が増え、参加者数が増加し続けるのに対応するため、2007年大会より、コンピューターを使用する新しい大会形式に移行し、さらに多くの高校生が参加できる体制を導入する予定です。

最終的にはアメリカ全地域から高校生が参加するのを目標に掲げて

います。その目標達成のために、日米両国の皆様のご理解・ご支援が必至です。

審査員の判断結果を待つチーム





**THE JAPAN-AMERICA SOCIETY
OF WASHINGTON DC**

**Celebrating 50 Years of Service to
Our Nation's Capital**

1957—2007

ジャパン・ボウルの趣旨にご賛同下さり、将来の大会支援をご希望の方、またはジャパン・ボウルをもっと詳しく知りたいという方は、以下までご連絡下さい。

担当： 日野友紀子

Ms. Yukiko Hino
Japan-America Society of Washington DC
1819 L Street NW
Level 1B
Washington DC 20036
(T) 202-833-2210
(F) 202-833-2456

Email: yhino@us-japan.org (日本語可)



質問サンプル

Q: In Japanese, what is the name of Tokyo's Imperial Palace?

A: Koukyo (皇居)

Q: Japan consists of four major islands. Three of them are Honshu, Kyushu, and Hokkaido. What is the fourth one?

A: Shikoku (四国)

Q: A Japanese friend is asking you for directions. How do you tell her the following in Japanese? *"The subway station is in front of the department store."*

A: 地下鉄の駅はデパートの前 {です・にあります}。

Q: Read this word in Japanese and then give the English meaning:

カリブ海

A: karibu kai -Caribbean Sea

Q: Read this Japanese saying and give an English equivalent:

じゅうにんという
十人十色

A: Juunin toiro — "ten people, ten colors," meaning "to each his own, everyone has their own opinion"

Q: Pronounce this onomatopoeic expression and use it in a sentence:

ぺこぺこ

A: peko-peko. Onaka ga peko peko desu. I am really hungry, starving to death.

Q: Read these words in Kanji and give its meaning:

世界地図

A: sekai chizu—world map